

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成28年4月14日 (2016.4.14)

【公開番号】特開2014-182115(P2014-182115A)

【公開日】平成26年9月29日 (2014.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2014-053

【出願番号】特願2013-58692(P2013-58692)

【国際特許分類】

G 0 1 B 11/25 (2006.01)

G 0 1 B 11/245 (2006.01)

【F I】

G 0 1 B 11/25 H

G 0 1 B 11/245 H

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月24日 (2016.2.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光源に対する計測部位の向きが最適であるとき、光を照射する照射手段と、
前記光に照射された前記計測部位の三次元形状を計測する計測手段と、
を備える三次元計測装置。

【請求項 2】

前記計測手段は、前記計測部位が前記光の照射範囲に含まれ、かつ、前記計測部位が前記光の照射方向を向いている撮影画像に基づき、前記計測部位の三次元形状を計測することを特徴とする請求項 1 に記載の三次元計測装置。

【請求項 3】

前記計測手段は、前記光源が複数存在する場合、前記計測部位の左右方向に対して両端に存在する光源の前記光の照射方向がなす角を水平面において二分する方向、かつ、前記計測部位の上下方向において両端に存在する光源の前記光の照射方向がなす角を前記水平面と垂直な面において二分する方向に、前記計測部位が向いている撮影画像に基づき、前記計測部位の三次元形状を計測することを特徴とする請求項 2 に記載の三次元計測装置。

【請求項 4】

前記計測部位が前記光の照射範囲に含まれない場合に、前記計測部位が前記照射範囲に含まれるように誘導する誘導手段をさらに有することを特徴とする請求項 2 又は 3 に記載の三次元計測装置。

【請求項 5】

前記計測部位が前記光の照射範囲に含まれない場合に、前記計測部位が前記照射範囲に含まれるように前記光源を移動させる移動手段をさらに有することを特徴とする請求項 2 乃至 4 のいずれか一項に記載の三次元計測装置。

【請求項 6】

前記計測手段は、前記計測部位のヨー角又はピッチ角が、所定範囲に含まれる場合、前記撮影画像に基づき、前記計測部位の三次元形状を計測することを特徴とする請求項 2 乃至 5 のいずれか一項に記載の三次元計測装置。

【請求項 7】

前記計測手段は、前記計測部位のロール角が、所定範囲に含まれる場合、前記撮影画像に基づき、前記計測部位の三次元形状を計測することを特徴とする請求項 6 に記載の三次元計測装置。

【請求項 8】

照射されていない前記計測部位の撮影画像に基づき、前記三次元形状が示す位置における色情報を決定する色情報決定手段をさらに有することを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか一項に記載の三次元計測装置。

【請求項 9】

情報処理装置が実行する制御方法であって、
光源に対する計測部位の向きが最適であるとき、光を照射する照射工程と、前記光に照射された前記計測部位の三次元形状を計測する計測工程と、
を有することを特徴とする制御方法。

【請求項 10】

情報処理装置が実行するプログラムであって、
光源に対する計測部位の向きが最適であるとき、光を照射する照射手段と、前記光に照射された前記計測部位の三次元形状を計測する計測手段
として前記情報処理装置を機能させることを特徴とするプログラム。

【請求項 11】

請求項 10 に記載のプログラムを記憶したことを特徴とする記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項 1 に記載の発明は、三次元計測装置であって、光源に対する計測部位の向きが最適であるとき、光を照射する照射手段と、前記光に照射された前記計測部位の三次元形状を計測する計測手段と、を備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、請求項 9 に記載の発明は、情報処理装置が実行する制御方法であって、光源に対する計測部位の向きが最適であるとき、光を照射する照射工程と、前記光に照射された前記計測部位の三次元形状を計測する計測工程と、を有する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、請求項 10 に記載の発明は、情報処理装置が実行するプログラムであって、光源に対する計測部位の向きが最適であるとき、光を照射する照射手段と、前記光に照射された前記計測部位の三次元形状を計測する計測手段として前記情報処理装置を機能させる。